

郵便はかき

右屬縣

佐賀市赤松町南

石丸勝市殿



東京麹坂区赤坂美田目

九番出大塚信豊方

古瀬敏道

お存下日増し暖為の性相解るる其處河字の
様此等之河社傳の段其序方如く先は御契出番の折り
傳は河世結の相成り致重き事河孔中と云ふ生二年上の傳
契古書屏上之朝字都之着し四時を待合也新標直行之
平七日未着是今表記の折の上高野在る事今之傳
事今之河朱心下を如く本の上より學校之入存りし序
矣尤も道之申為高台之序職致えと存り矣。
亦此の事を上り土地不安收の考め作序非幸之困難致し
序の文見るとは面合はるは遠藤社傳起はし序の事
時節の如く河自意の程計と云先之世事を以て河孔中と云